



下水をきれいにする仕事

広げる・調べる

生活に使った水は、その後どうなるのでしょうか。

中川水循環センター

埼玉県東部の11市4町（さいたま市、川口市、春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、蓮田市、幸手市、吉川市、白岡市、伊奈町、宮代町、杉戸町、松伏町）から来る下水をしよ理しています。しき地面積は小学校のおよそ31個分の大きさです。



中川水循環センター（埼玉県三郷市）

使った後の水のゆくえは

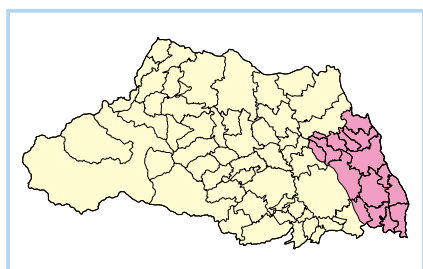
「学校や家庭で使った水は、その後どこに行くのかな。」

「使った後の水は地下にある下水管かんを通して下水しよ理しせつ（水じゅんかんセンター）に集められるよ。」

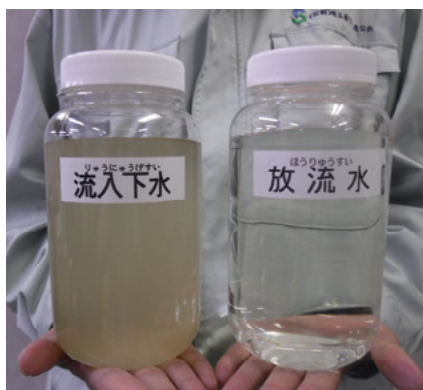
「下水しよ理しせつでよごれた水をきれいにしているんだね。」

「きれいになった水は川に流されているんだ。」

たかしさんたちは、使った後の水をきれいにしている中川水循環センターじゅんかんの人に話を聞いてみました。



中川流いき下水道しよ理区いき



流入下水と放流水

中川水循環センターの人の話

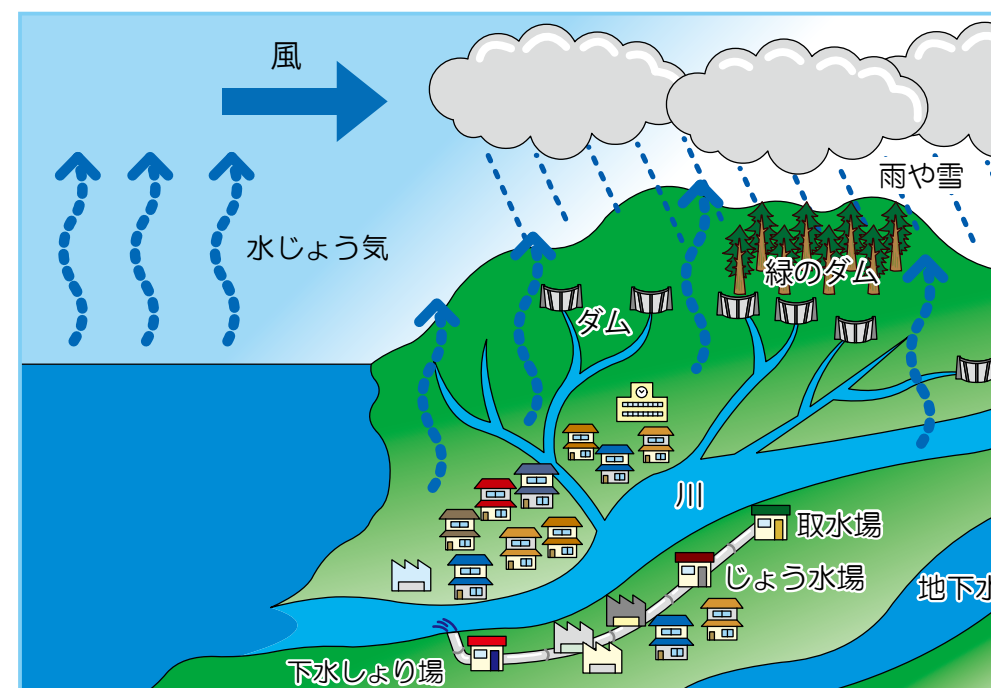


みなさんの家などで使われた後のよごれた水は、水循環センターできれいな水によみがえります。これには多くのび生物が活やくしています。

わたしたちは、24時間いつも水がきれいになるように、水のけんさや、しせつの点けんなどを行っています。

油やごみなどを下水に流すと、下水管かんがつまったり、び生物がいやがるので、流さないでください。水を大切に使ってくださいね。

水の流れとわたしたちの暮らし



水のじゅんかん

川に流された水は、じょう発して雲になり、雨として、ふたたび水源の森やダムに集まってきます。このように地上と空で水が回っていることを「水のじゅんかん」といいます。

たかしさんたちは水のじゅんかんの様子や、水の流れがわたしたちの暮らしに大きく関わっていることを知り、話し合いました。

「越谷市や埼玉県、さらにそれ以外いがいの人たちの協力きょうりょくがあるからわたしたちは安心して水を使うことができるんだね。」

「わたしたちが使った水は、雨すいげんとなって水源のダムや森に集まって、ふたたび、わたしたちが使う水となっていくんだね。」

「このように水はじゅんかんしているから、きれいに流したり、かぎりある水を大切に使ったりしていかなければならないんだね。」